

土木工事監督実施基準

制 定 : 昭和59年3月31日付け 59技第17号
改 正 : 平成11年9月28日付け 11技第125号
一部改正 : 平成23年11月17日付け 23技管第117号

1. 目的

この基準は、土木工事における請負契約の適正な履行を確保するため、請負工事等監督要領（水公達 平成11年第25号）第33条の規定に基づき、監督を行うために必要な技術的基準を定めることにより、監督業務の適切な実施を図ることを目的とする。

2. 適用

この基準は、水資源開発公団（以下「公団」という。）が所掌する土木工事における監督員の一般的な監督業務の標準を示すものである。

監督員は、工事の施工に際し工事請負契約書（以下「契約書」という。）及び設計図書に基づき、この基準により監督を行うものとする。ただし、工事内容等によりこの基準を適用することが不相当と判断される場合は、この基準によらないことができる。この場合は、事前に新たな基準を定め、その基準により監督を行うものとする。

また、この基準にない工種等については、確認事項等を事前に定め、その基準により監督を行うものとする。

3. 用語の定義

- (1) **監督**とは、契約図書における公団の責務を適切に遂行するために、工事状況の確認及び把握等を行い、契約の適正な履行を確保する業務をいう。
- (2) **監督員**とは、会計規程第73条の規定により指定される監督を行う者で、統括監督職員、主任監督職員及び監督職員から構成される。
- (3) **統括監督職員**とは、監督員のうち工事の監督を統括する者をいう。
- (4) **主任監督職員**とは、監督員のうち工事を統括監督し、監督職員を指揮監督する者をいう。
- (5) **監督職員**とは、監督員のうち統括監督職員及び主任監督職員以外の者をいう。
- (6) **現場技術員**とは、契約により公団事務所に常駐して監督の補助業務を行う公団職員以外の者をいう。

- (7) **契約図書**とは、契約書及び設計図書をいう。
- (8) **設計図書**とは、特記仕様書、図面、共通仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう。
- (9) **指示**とは、監督員が請負者に対し、工事の施工上必要な事項について、書面をもって示し、実施させることをいう。
- (10) **承諾**とは、契約図書で明示した事項について、公団若しくは監督員又は請負者が書面により同意することをいう。
- (11) **協議**とは、書面により契約図書の協議事項について、公団と請負者が対等の立場で合議し、結論を得ることをいう。
- (12) **提出**とは、監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し工事に係わる書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。
- (13) **提示**とは、監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し工事に係わる書面またはその他の資料を示し、説明することをいう。
- (14) **報告**とは、請負者が監督員に対し、工事の状況又は結果について、書面をもって知らせることをいう。
- (15) **通知**とは、監督員が請負者に対し、又は請負者が監督員に対し、工事の施工に関する事項について、書面をもって知らせることをいう。
- (16) **受理**とは、提出又は通知された書面を受けとり、内容を把握することをいう。
- (17) **書面**とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記載し、署名又は押印したものを有効とする。緊急を要する場合はテレックス、電信、ファクシミリ及び電子媒体により伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し換えるものとする。
- (18) **把握**とは、監督員が臨場若しくは請負者が提出又は提示した資料により、施工状況、使用材料、提出資料の内容等について、契約図書との適合を自ら認識しておくことをいい、請負者に対して認めるものではない。
- (19) **確認**とは、契約図書に示された事項について、監督員が臨場若しくは請負者が提出した資料により、その内容について契約図書との適合を確かめ、請負者に対して認めることをいう。
- (20) **巡視**とは、臨場により行う把握のことをいう。
- (21) **立会**とは、契約図書に示された項目について、監督員が臨場し、内容を確認することをいう。
- (22) **段階確認**とは、設計図書に示された施工段階において、監督員が臨場等により、出来形、品質、規格、数値等を確認することをいう。

4. 監督の実施

(1) 監督事項及び監督の方法

監督を行う事項及び監督の方法は、別表の「監督事項及び監督の方法」によるものとする。

なお、同表に掲げる「●」、「◎」及び「○」の意味は、次のとおりである。

●印：監督の方法の把握又は確認の区分を示したものである。

◎印：把握又は確認を行うにあたり、原則として公団の監督員が実施すべき事項を示したものである。

○印：把握又は確認を行うにあたり、主任監督職員の判断により、現場技術員に実施させることができる事項を示したものである。

ここで、現場技術員に確認を代行させる場合には、あらかじめ打合せ簿により請負者に対しその旨を通知するものとする。(打合せ簿の記載例：次に示す確認事項については、今後、現場技術員に対し、立会による確認事項についての適否の判定権限を付与したので通知する。)

また、把握・確認の方法の欄は、標準の区分を示したものである。必要に応じて、書面を臨場に変える、臨場者を現場技術員から監督員に戻す等のことは、主任監督職員の判断で臨機に行うものとする。

(2) 臨場の頻度

巡視の頻度は、主任監督職員の判断によるものとするが、準備工が整った時点、各工種の初期段階が適当である。

立会は、請負者に対して適否の判断を示す必要があるため、その都度臨場を原則とする。ただし、同じ工程を繰り返す工種に対しては、主任監督職員の判断により写真等による確認方法を採用できるものとする。

監督事項及び監督の方法

第1編 共通編

第1章 総則

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場			
						巡視	立会		
施 工 計 画	計 画 工 程	1 施工量と施工時期	●		◎			受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。	
		2 他工事との関連	●		◎				
	現 場 組 織 表	構成と業務区分		●		◎			
		主 要 機 械	1 施工量と施工機械のバランス	●		◎			
	2 主要機械の搬入予定、時期、種類、性能、台数		●		◎				
	施 工 方 法	1 主要工種の施工方法		●		◎			
		2 土取場、土捨場、運搬経路		●		◎			
		3 仮設備方法		●		◎			
		4 地下埋設物の処理方法		●		◎			
	施 工 管 理 計 画	出来形管理の管理項目、管理方法		●		◎			
		品質管理の管理項目、管理方法		●		◎			
		工程管理の管理項目、管理方法		●		◎			
	緊 急 時 の 体 制	発生時の処置、連絡方法		●		◎			
	交 通 管 理	1 一般交通処理の方法		●		◎			
		2 交通整理器材、整理員の配置		●		◎			
		3 運搬路補修の方法		●		◎			
	安 全 衛 生 管 理	1 安全対策		●		◎			
		2 危険物の保管方法		●		◎			
	仮 設 備 計 画	重要構造物の構造、施工の安全性		●		◎			
環 境 保 全 管 理	振動・騒音等の公害防止策		●		◎				
イ メ ー ジ ア ッ プ	工事現場内のイメージアップ実施計画		●		◎				
再 生 資 源 の 利 用 促 進	再生資源の利用及び建設副産物の処理計画		●		◎				
工 事 用 仮 設	1 指定仮設の設置状況			●			◎	指定仮設の設置完了時に段階確認を行う。	
	2 無指定仮設の設置状況		●		◎				
用 地 及 び 物 件	1 工事用地の範囲			●			◎		
	2 公団借地箇所の復旧状況			●			◎		
	3 境界杭の設置			●			◎		
施 工 管 理	1 出来形管理の資料整備状況		●		◎				
	2 品質管理の資料整備状況		●		◎				
	3 工程管理の資料整備状況		●		◎				

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
工 事 現 場 管 理		1 施工計画項目の実施状況	●			◎		随時巡視により把握する。
		2 現場整備状況	●			◎		
		3 現場安全衛生管理状況	●			◎		
工 事 測 量	仮 B M の 水 準 高	1 基準水準点のチェック	●		◎			
		2 基準高、箇所数、設置状況	●		◎			
	中 心 線 (法 線)	中心線（又は法線）の位置	●		◎			
	測 量 座 標 高	中心線路肩等の位置の高さ	●		◎			
	縦 横 断	測量成果と設計図対比、用地杭との関連		●			◎	
完 成 図 書		完成図		●	◎			
跡 片 付		片付状況		●			◎	
第2章 材 料								
材 料	設計図書で明示又は 監督員の指示した材料	品質規格		●	◎			使用数量でしか出来高数量が確認できないものは、 使用数量も確認する。
	上記と同等品とみな されるもの	品質規格		●			◎	

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場			
						巡視	立会		
第3章 一般施工									
3-1 共通的工種									
床掘り・埋戻し	事前対応	崩壊又は破損のおそれのある構造物		●			◎	土質、岩質の変化時に段階確認を行う。 段階確認を行う。 埋戻し前に段階確認を行う。	
	施工状況	1 土質、岩質の確認		●			◎		
		2 仕上り面の状況		●			○		
		3 湧水、滞水の処理方法	●			○			
		4 埋戻し材の適否		●			◎		
		5 埋戻し後の状況	●			○			
矢板工	施工状況	1 打込方法・使用機械等		●			◎	段階確認を行う。	
		2 矢板打込み状況		●			○		
		3 矢板引抜き状況		●			○		
		4 控え版、タイロッドの施工状況		●			○		
	出来形	1 施工延長、基準高		●					○
		2 根入長、変位		●					○
法 枠 工	吹付材料	1 材料の配合		●			○	当初及び材料変更時。 緩んだ転石等の除去の確認。	
		施工状況	1 法面処理状況		●				○
			2 湧水処理方法		●				○
			3 型枠、鉄筋の配置		●				○
			4 法枠内の施工状況	●			○		
	5 吹付状況		●			○			
出来形	法長、延長、間隔		●			○			
吹 付 工	吹付材料	1 材料の配合		●			○	当初及び材料変更時。 緩んだ転石等の除去の確認。	
		施工状況	1 吹付面処理状況		●				○
			2 湧水処理方法		●				○
			3 菱形金網、アンカーピンの設置状況		●				○
			4 伸縮目地、水抜孔の施工状況	●			○		
	5 吹付状況		●			○			
出来形	吹付厚、法長、延長		●			○			
植 生 工	植生材料	1 材料の種類、品質、配合		●			◎	当初及び材料変更時。 植生工には、張芝、筋芝、種子吹付、客土吹付 厚層基材吹付、種子帯工を含む。	
		2 肥料の種類		●			○		
	施工状況	1 植生工の施工状況	●			○			
		2 植生ネット等の設置		●			○		
	出来形	法長、延長、間隔、径及び深さ		●			○		

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記事	
種別	細別	内容	把握	確認	書面	現場			
						巡視	立会		
防止柵工 路側防護柵工	施工状況	1 設置状況	●			○			
		2 地下埋設物の状況		●			◎		
	出来形	延長、高さ		●			○		
3-2 基礎工									
土台工	施工状況	土台工の施工状況		●			○	基礎の適否と充てんの確認。	
		土台工の材料		●			○		
	出来形	基準高、延長、巾、厚さ		●			○		
法留基礎工	施工状況	法留基礎工の施工状況		●			○		
既製杭工	打込試験	1 試験杭の計画	●		◎			段階確認を行う。	
		2 試験打込長、打止め貫入量		●			◎		
		3 試験結果		●	◎				
		4 騒音、振動等の状況		●			○		
	施工状況	1 打込み方法、使用機械等			●	◎			
		2 杭先端の処理状況			●				○
		3 杭頭仕上げ状況			●				○
		4 打止め貫入量、偏心量			●				○
	コンクリート杭	1 埋め込み工法の杭先端確認			●				○
		2 コンクリート打設方法の杭先端処理			●				○
		3 コンクリート殻処理	●				○		
	鋼管杭、H鋼	1 運搬、保管		●					○
		2 杭頭仕上げ状況			●				○
		3 杭継手の施工状況			●				○
		4 現場溶接箇所の施工状況			●				○
5 打止め貫入量、偏心量				●			○		
出来形	基準高、根入長、偏心量			●			○		
	打込本数			●			○		

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記事	
種別	細別	内容	把握	確認	書面	現場			
						巡視	立会		
場所打杭工	打込試験	1 試験計画の方法		●	◎			段階確認を行う。	
		2 打込長の決定		●			◎		
		3 試験結果		●	◎				
		4 騒音、振動等の状況		●			○		
	施工状況	1 工程計画の適否			●	◎			
		2 施工機械の機種、能力適否			●	◎			
		3 支持地盤の適否			●				◎
		4 コンクリート打込計画の適否			●	◎			
		5 孔底沈殿物の除去の状況			●				○
		6 鉄筋の組立、建込みの状況			●				○
		7 排出土砂、孔内水位の状況	●				○		
8 泥水工法の場合の泥水濃度、比重			●				○		
9 コンクリート打込状況		●				○			
出来形	基準高、根入長、偏心量			●			○	段階確認を行う。	
	打込本数			●			○		
深礎工	施工状況	1 掘削、湧水の状況		●			○	土質、岩質の変化時に段階確認を行う。	
		2 土留工の施工状況	●			○			
		3 支持地盤の適否		●			◎	段階確認を行う。	
		4 鉄筋かごの配筋の適否		●			○	段階確認を行う。	
	出来形	杭径、杭長、基準高			●		○		
ケーソン工 (オーフンケーソン、 ニューマチックケーソン)	施工計画	1 ケーソン内の掘削方法		●	◎			段階確認を行う。	
		2 載荷方法		●	◎				
		3 沈下方法		●	◎				
		4 コンクリート打込計画		●	◎				
	施工状況	1 沈下の状況	●				○		
		2 底面地盤の適否		●					◎
		3 コンクリート打込状況	●				○		
		4 型枠の施工状況		●					○
		5 配筋の適否		●					○
出来形	断面、長さ、基準高、偏心量			●			○	段階確認を行う。	

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
3-3 石、ブロック積（張）工								
コンクリートブロック工 緑化ブロック工 石積（張）工	施 工 状 況	1 基礎地盤の適否		●			◎	
		2 積石等の清掃状況	●			○		
		3 積（張）方状況	●			○		
		4 練積（張）の裏込めコンクリート状況	●			○		
		5 伸縮目地、水抜き孔の状況	●			○		
		6 裏込め栗石、間隙、充てん状況	●			○		
		7 裏型枠の使用状況	●			○		
	出 来 形	1 基準高、法長、延長、巾、厚さ		●			○	
		2 裏込め厚		●			○	
3-4 一般舗装工								
舗装材料 (アスファルト、コンクリート)	舗装材料	材料試験結果、品質規格		●	◎			
アスファルト舗装工	施 工 状 況	1 路盤の清掃	●			○		
		2 上層、下層路盤の施工状況	●			○		
		3 路盤安定処理の施工状況	●			○		
		4 表層、基層の施工状況	●			○		
	出 来 形	1 基準高、巾、平坦性		●			○	
		2 舗装厚さ、密度		●			○	
コンクリート舗装工	施 工 状 況	1 上層、下層路盤の施工状況	●			○		
		2 路盤安定処理の施工状況	●			○		
		3 コンクリート打込、型枠の施工状況	●			○		
		4 コンクリート敷均し、転圧の施工状況	●			○		
		5 表面仕上げ養生の施工状況	●			○		
	出 来 形	1 基準高、巾、平坦性		●			○	
2 舗装厚さ、密度			●			○		

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
3-5 地盤改良工								
路床安定処理工 表層安定処理工	施 工 状 況	1 使用機械	●		◎			掘削完了時に段階確認を行う。
		2 路床、表層安定処理の施工状況	●			○		
	出 来 形	処理範囲、改良強度		●			○	段階確認を行う。
		パイルネット工						
	施 工 状 況	1 杭の材質と規格		●	◎			
		2 杭打込み状況	●			○		
	出 来 形	杭の本数、設置高さ		●			○	
		パーチカルドレーン工						
	施 工 状 況	1 使用機械の選定	●		◎			
		2 投入材等の使用量の確認	●		◎			
	出 来 形	1 投入量、使用量		●			○	段階確認を行う。
		2 ドレーン本数、口径、間隔、延長		●			○	段階確認を行う。
固 結 工	施 工 状 況	1 固結強度の確認		●	◎			
		2 周辺状況の調査		●			◎	
		3 攪拌する場合の施工状況	●			◎		
		4 薬液注入の施工状況	●			◎		
	出 来 形	施工範囲、改良深度、強度		●			○	
3-6 構造物撤去工								
構造物取壊し工	施 工 状 況	1 本体構造物への影響		●			○	
		2 取壊し工法の検討	●		◎			
		3 周辺の安全対策		●			◎	

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
第4章 土工								
4-1 河川土工								
一 般 事 項	施 工 状 況	1 岩質、土質の確認		●			◎	土質、岩質の変化時に、段階確認を行う。
		2 建設発生土等の処理状況	●			◎		
	出 来 形	捨土、流用土量		●			○	
		掘 削 土 (切 土 工)	施 工 状 況	1 河川施設への影響	●			○
		2 岩掘削の浮石処理		●			○	
		3 掘削状況	●			○		
	出 来 形	基準高、巾、法長、延長		●			○	
		盛 土 工	盛 土 一 般	1 段切りの状況	●			○
		2 排水処理状況	●				○	
		3 盛土の施工状況	●				○	
	盛 土 材 料	1 材料及び運搬の状況	●				○	
		2 土の採取場所の状況	●				○	
		3 盛土材料の適否		●			◎	
		まき出し、締固め	1 まき出し締固め状況	●			○	
		2 締固め密度		●		◎		
		軟弱地盤上の盛土	1 軟弱地盤の状況		●			◎
		2 盛土の状況	●				○	
		出 来 形	基準高、巾、法長、延長		●			○
整 形 仕 上 げ 工	施 工 状 況	整形施工状況	●				○	
		出 来 形	基準高、巾、法長、延長		●			○

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
4-2 道路土工								
一 般 事 項	施 工 状 況	1 岩質、土質の確認		●			◎	土質、岩質の変化時に、段階確認を行う。
		2 湧水、滞水の処理方法		●			○	
		3 建設発生土等の処理状況	●			◎		
		4 軟弱地盤の盛土状況	●			○		
掘 削 工 (切 土 工)	施 工 状 況	1 路床面の支持力状況	●			○		
		2 掘削の施工状況	●			○		
		3 切土法面状況、浮石の処理		●			○	
	出 来 形	基準高、巾、延長、法長		●			○	
盛 土 工	施 工 状 況	1 盛土地盤の状況	●			○		
		2 盛土の状況	●			○		
		3 まき出し、締固め状況	●			○		
		4 盛土材料の適否		●			◎	
	出 来 形	基準高、巾、延長、法長		●			○	

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場			
						巡視	立会		
第5章 無筋・鉄筋コンクリート									
5-1 コンクリート									
コンクリート	レディミクストコンクリート	1 配合及び試験結果		●	◎				
		打 込 み	1 打込み計画	●		◎			
			2 打込み面清掃の状況	●			○		
			3 コンクリート打込み状況	●			○		
			4 上層、下層の一体性	●			○		
	5 締固めの状況		●			○			
	養生	養生の状況	●			○			
	施工継目	1 位置、構造の適否	●			◎			
2 打継面の処理状況			●			○			
型枠及び支保	型 枠	型枠設置、撤去の状況	●			○			
鉄筋	配筋の適否	1 加工、組立状況		●			○	段階確認を行う。	
		2 鉄筋の継手状況		●			○		
		3 ガス圧接		●			○		
出来形		基準高、形状、寸法		●			○		
5-2 特殊コンクリート									
暑中コンクリート	打 込 状 況	1 気象状況、打込計画		●	◎				
		2 コンクリート打込状況	●			○			
		3 養生状況	●			○			
寒中コンクリート	打 込 状 況	1 気象状況、打込計画		●	◎				
		2 コンクリート打込状況	●			○			
		3 養生状況	●			○			
水中コンクリート	打 込 状 況	1 気象状況、打込計画		●	◎				
		2 コンクリート打込状況	●			○			
	出来形		基準高、形状、寸法		●				○

第2編 河川編

第1章 築堤・護岸

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法		記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視		立会
護岸基礎工、 矢板護岸工	施工状況	材料の品質	●		◎			法線設置完了時に段階確認を行う。
	出来形	基準高、延長		●			○	基礎工完了時に段階確認を行う。
護岸法覆工	コンクリートブロック張工	第1編第3章 一般施工に準ずる。						法線設置完了時に段階確認を行う。
	緑化ブロック工							
	石張り、石積み工							
	法 枠 工							
	多自然型護岸工	施工状況	●			○		
	吹付工	第1編第3章 一般施工に準ずる。						
	植生工							
	羽口工	1 材料の適否		●			○	
	2 鉄線じゃかごの施工状況	●				○		
出来形	基準高、厚さ、法長、延長		●			○		
擁壁護岸工	法留基礎工	第1編第3章 一般施工に準ずる。						法線設置完了時に段階確認を行う。
	矢板工							
	既製杭工							
	コンクリート擁壁工							
	ブロック積み工							
	石積み擁壁工							
	フレキャスト擁壁工	1 施工方法		●	◎			
		2 施工状況	●				○	
3 目地構造		●				○		
出来形	基準高、法長、延長		●			○		

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場			
						巡視	立会		
根 固 め、水 制 工	根固めブロック工	1 ブロックの製作状況		●			○	段階確認を行う。	
		2 ブロックの運搬、据付状況	●			○			
		3 施工状況	●			○			
	沈 床 工	1 材料の適否		●					○
		2 組立の状況		●			○		
		3 据付状況		●			○		
	捨 石 工	1 材料の適否			●				○
		2 捨石の施工状況		●			○		
	か ご 工	1 材料の適否			●				○
2 鉄線じゃかごの布設状況				●			○		
	出 来 形	法長、延長、基準高		●			○		
付 帯 道 路 工	施 工 状 況	1 路盤面の適否	●				○		
		2 材料の適否	●			○			
		3 舗装施工状況	●			○			
		4 付帯施設施工状況	●			○			
	出 来 形	基準高、厚さ、巾、延長		●			○		
し ゅ ん せ つ	施 工 状 況	1 工事標識及び量水標設置	●				○		
		2 作業船の避難の場所及び設備	●				○		
		3 船舶航行に対する保安対策	●				○		
		4 排泥、排水の状況	●				○		
		5 受枠及び配管状況	●				○		
		6 土捨場の状況		●					○
	出 来 形	1 断面の深さ、巾、延長			●				○
		2 しゅんせつ後の土量			●				○

第3編 砂 防 編

第3章 斜面对策

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
法 面 工	施 工 状 況	第1編第3章 一般施工に準ずる。						
擁 壁 工	施 工 状 況	第6編第1章 擁壁工に準ずる。						
山 腹 水 路 工	施 工 状 況	1 材料の据付状況		●			○	
		2 埋戻材料	●			○		
		3 排水状況	●			○		
		4 フィルター材料の適否		●			○	
	出 来 形	基準高、延長		●			○	
地 下 水 排 除 工	施 工 状 況	1 湧水状況		●			○	
		2 せん孔中の地層状況		●			◎	
		3 集水井内の状況		●			◎	
		4 周辺状況の確認		●			○	
	出 来 形	深度、径		●			○	
抑止杭・アンカー工	施 工 状 況	第6編第1章 法面工に準ずる。						

第4編 ダム 編

第1章 コンクリートダム

監 督		事 項	監督の方法		把握確認の方法		記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場 巡視 立会		
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 仮設備計画	●		◎		受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。	
		2 基礎掘削計画	●		◎			
		3 原石採取・運搬計画	●		◎			
		4 コンクリート製造、打設計画	●		◎			
		5 クーリング計画	●		◎			
		6 継目グラウチング計画	●		◎			
		7 基礎グラウチング計画	●		◎			
		8 施工機械計画	●		◎			
		9 用土及び土捨計画	●		◎			
		10 品質管理計画	●		◎			
		11 計器埋設計画	●		◎			
		12 安全管理計画	●		◎			
掘 削	施 工 状 況	1 掘削方法、順序等	●			◎	施工計画との対比。 随時巡視により把握する。	
		2 湧水の有無	●			◎		
		3 断層、風化帯等の有無	●			◎		
		4 掘削面の浮石、凸凹等の処理状況	●			◎		
		5 掘削法面の状況	●			◎		
	最 終 掘 削 線	1 ダム基礎の適否		●			◎	段階確認を行う。
		2 地質の変化点		●			◎	
	仕 上 げ 掘 削	1 掘削基準高、中等の適否		●			○	崩壊・落石等の危険及びその対策等。 段階確認を行う。
		2 浮石等の処理の適否		●			○	
		3 断層、風化帯の処理の適否		●			○	
		4 掘削面の凸凹の程度		●			○	
		5 湧水の処理の適否		●			○	
		6 岩盤清掃状況		●			○	
	基 礎 地 盤	1 仕上げ掘削の適否		●			◎	段階確認を行う。 段階確認を行う。（地盤検査後、長期間放置した場合の再検査を含む。）
		2 岩盤清掃の適否		●			◎	
		3 ボーリング孔、試掘杭の処理の適否		●			◎	
		4 地質図の作成及び現地照合	●			○		

監 督 事 項		監督の方法		把握確認の方法		記 事			
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面		臨 場		
							巡視	立会	
ダムコンクリート	原 石 採 取	1 表土剥ぎ掘削線		●			◎	表土処理完了時に段階確認を行う。 廃棄処理のある場合は、その範囲を指示する。	
		2 所定の採取量	●			○			
		3 掘削基準高、勾配、断面等の状況	●			○			
		4 掘削面の浮石処理状況	●			○			
		5 流水及び湧水処理状況	●			○			
	骨材の製造及び貯蔵	1 製品骨材の適否及び品質管理の状況	●			◎		骨材仕様との対比をする。 濁度、PH等の測定（適宜）。	
		2 骨材の貯蔵量及び貯蔵状況	●			○			
		3 木根等混入の有無	●			○			
		4 濁水の処理状況	●			○			
	配 合	示方配合と現場配合の適否	●		◎			定期点検は「確認」による。	
	計 量 装 置	計量誤差の適否		●	◎				
	ミキサーの性能	性能、練混ぜ時間の適否		●			○		
	施 工 状 況	1 コンクリート打込み前		●				◎	段階確認を行う。
		2 打込み現場の気象状況	●				◎		
3 敷モルタルの厚さ及び塗込み状況			●				◎		
4 異配合コンクリートの打継ぎ状況		●				○			
5 締固め状況		●				○			
6 表面の仕上げ状況		●				○			
7 養生状況		●				○			
型 枠	型 枠 設 置	1 型枠の構造、材質の適否		●	◎			段階確認を行う。	
		2 設置位置、基準高の適否		●			○		
		3 据付け、取外しの状況		●			○		
		4 せき板の清掃状況		●			○		
埋 設 物 設 置	クーリングパイプ設置	1 クーリングパイプ組立加工図	●		◎			段階確認を行う。	
		2 設置の状況		●			◎		
		3 通水試験による漏水の有無		●			○		
	継目グラウチング設備設置	1 継目グラウチング配管詳細図	●		◎			段階確認を行う。	
		2 設置の状況		●			◎		
		3 通気、通水試験によるパイプ詰まりの有無		●			○		
	止水板、鉄筋組立	1 止水板の材質、規格の適否	●		◎			段階確認を行う。 段階確認を行う。	
		2 漏気試験（接合状況）		●			○		
		3 配筋の適否（継手処理、組立状況）		●			○		
		4 設置状況		●			○		
	観測計器埋設	1 精度、容量、耐久性の適否	●		◎			段階確認を行う。	
		2 設置位置、標高、方向の適否		●			○		
3 初期値、測定記録		●		◎					
4 設計値との対比		●		◎					

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
パイプクーリング	通水測定記録	1 コイル内の流量	●			○		
		2 サブライ温度、リターン温度	●			◎		
		3 通水方向、通水時間	●			○		
	クーリングパイプ閉塞	1 管内清掃の状況	●			○		
		2 セメントミルクの配合等の適否	●		◎			
		3 注入量の確保、充填完了後の処理		●			○	
プレクーリング	施工状況	1 各材料の所要冷却量の適否	●			◎		
		2 プレクーリング計画との対比	●			○		
継目グラウチング	注入材料	1 セメント等の品質の確認	●		◎			
		2 注入材料の数量	●			○		
	注入設備	継目グラウチング計画との対比	●		◎			
	施工状況	1 洗浄の状況	●			○		
		2 水押しテスト						
		(1)テスト状況		●			○	
		(2)リーク箇所の検出、コーキングの適否		●			○	
		3 グ라우チング						
		(1)注入圧力の適否、充水の適否		●			○	
		(2)セメントミルクの配合切替え、濃度の適否		●			○	
		(3)測定状況の適否、測定結果の把握		●			◎	
		(4)コーキングの適否		●			○	
(5)注入完了の時期			●			◎		
閉塞コンクリート	配合	示方配合と現場配合の適否	●		◎			
	施工状況	1 湧水及び漏水処理の適否		●			○	
		2 チッピング状況の適否		●			○	
		3 コンクリート打込み前		●			◎	
		4 締固め状況		●			○	
		5 養生状況	●			○		
出来形			●			○		

監 督 事 項		監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視		立会
第2章 フィルダム								
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 仮設備計画	●		◎		受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。	
		2 基礎掘削計画	●		◎			
		3 材料採取、運搬計画	●		◎			
		4 盛立計画	●		◎			
		5 基礎グラウチング計画	●		◎			
		6 施工機械計画	●		◎			
		7 用土及び土捨計画	●		◎			
		8 盛立試験計画	●		◎			
		9 品質管理計画	●		◎			
		10 計器埋設計画	●		◎			
		11 安全管理計画	●		◎			
掘 削	施 工 状 況	1 掘削方法、順序等	●			◎	施工計画との対比。 随時巡視により把握する。	
		2 湧水の有無	●			◎		
		3 断層、風化帯等の有無	●			◎		
		4 掘削面の浮石、凸凹等の処理状況	●			◎		
		5 掘削法面の状況	●			◎		
	最 終 掘 削 線	1 ダム基礎の適否		●			◎	崩壊・落石等の危険及びその対策等。 段階確認を行う。
		2 地質の変化点		●			◎	
	仕 上 げ 掘 削	1 掘削基準高、巾等の適否		●			○	段階確認を行う。 （地盤検査後、長期間放置した場合の再検査を含む。）
		2 浮石等の処理の適否		●			○	
		3 断層、風化帯の処理の適否		●			○	
		4 掘削面の凸凹の程度		●			○	
		5 湧水の処理の適否		●			○	
		6 岩盤清掃状況		●			○	
	基 礎 地 盤	1 仕上げ掘削の適否		●			◎	
		2 岩盤清掃の適否		●			◎	
		3 ボーリング孔、試掘杭の処理の適否		●			◎	
		4 地質図の作成及び現地照合	●				○	

監 督 事 項		監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視		立会
盛 立	材 料 採 取	1 表土剥ぎ掘削線		●			◎	表土処理完了時に段階確認を行う。 段階確認を行う。
		2 材料としての適否		●			◎	
		3 所定の採取量	●			○		
		4 掘削基準高、勾配、断面等の状況	●			○		
		5 掘削面の状況	●			○		
		6 湧水の有無	●			○		
	仮 置 き	1 仮置き状況	●			○		
		2 品質の変化状況の適否	●			○		
	掘 削 土 の 流 用 材	1 盛立材料としての適否		●			◎	
		2 表土等材料としての不適物混入の有無	●			○		
	試験ヤードの基礎	沈下、ウェーピングの有無		●			○	
	試 験 材 料	品質（粒度、含水比の値）の適否		●			◎	
	試 験 状 況	1 材料の搬入状況		●			◎	
		2 まき出し状況		●			◎	
		3 締固め状況		●			◎	
		4 含水比の変化		●			◎	
	試 験 結 果	1 施工管理試験方法・精度		●	◎			
		2 設計値との対比		●	◎			
	各 ゾ ー ン 共 通	1 場内の排水状況	●			○		
		2 気象状態と作業状況	●			○		
		3 盛立面の処理状況	●			○		
		4 まき出し前の状況		●			◎	
		5 まき出し厚	●			○		
		6 大玉の除去	●			○		
		7 締固め回数	●			○		
		8 ゾーン境界部、先行、後行境界の締固め状況	●			○		
		9 締固め密度の適否	●			○		

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記事	
種別	細別	内容	把握	確認	書面	現場			
						巡視	立会		
盛立	コアゾーン	1 湧水处理		●			○	段階確認を行う。	
		2 着岩部、構造物接触部の清掃及び湿潤状態		●			◎		
		3 盛立面の含水比の状態		●			◎		
		4 まき出し材料の品質（粒度・含水比）の適否		●			○		
		5 材料の搬入状況	●			○			
		6 着岩部、構造物付近の締固め状況		●			○		
		7 過転圧、ウェービング等による盛立面の状況		●			○		
		8 締固め時の含水比の変化とその処理状況		●			○		
	フィルターゾーン	1 湧水处理		●			○		段階確認を行う。
		2 着岩部の清掃状況		●			◎		
		3 まき出し材料の品質の適否		●			◎		
		4 土質材料の混入状況	●			○			
		5 まき出し時の分離の状況	●			○			
		6 まき出し厚さ・締固めの状況	●			○			
	ロックゾーン	1 粒度のバラツキ	●			○			
		2 まき出し材料(材質)		●			○		
	法面保護工	1 材質		●			○		
		2 かみ合せ及び間詰の状況	●			○			
観測計器	計器の仕様	精度、容量、耐久性の適否	●		◎		特記仕様書で工場検査を指示したものは、「確認」による。		
	計器の設置	1 設置位置、標高、方向の適否		●		○			
		2 埋戻し、配線計器の保護の適否		●		○			
		3 初期値、測定記録	●		◎				
		4 設計値との対比	●		◎				
出来形			●			○			

監 督 事 項		監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視		立会
第3章 基礎グラウチング								
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 工程計画	●		◎		受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。	
		2 注入設備、機械の適否	●		◎			
		3 専門技術者の経歴の適否	●		◎			
ボ ー リ ン グ	位 置 、 方 向	孔の位置、方向の適否		●			○	段階確認を行う。
		削 孔 長	1 各ステージごと	●			○	
	2 完了時			●			○	
	採 取 コ ア	採取コア	●			○		
グ ラ ウ チ ン グ	ル ジ オ ン テ ス ト	1 注入圧力、注入量	●			○		
		2 試験状況	●			○		
	施 工 状 況	1 注入設備、計器類の作動状況	●			○		
		2 孔内洗浄の状況		●			○	
		3 注入材料の数量		●			○	
		4 セメントミルク配合、切換え濃度の状況	●			○		
		5 注入圧力、注入速度の状況	●			○		
		6 コーキング、漏洩の状況	●			○		
		7 同時作業の規制状況	●			○		
		8 基礎岩盤及び堤体の変位		●			○	
9 注入完了孔の処理状況		●			○			
施 工 管 理	施工管理結果の報告	●		◎				
出 来 形		材料、延長、時間		●			○	段階確認を行う。

第5編 水路工編

第1章 開水路

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
開水路 ライニング水路 ブロック積水路	掘削	1 湧水、滞水の処理方法		●			○	段階確認を行う。 埋戻し前に段階確認を行う。 段階確認を行う。
		2 土留工の背面沈下、キレツの有無	●			○		
		3 基礎地盤の適否		●			◎	
	アンダードレーン	1 フィルター材料の適否		●			◎	
	ウィープホール	1 有孔パイプとの固定状況	●			○		
		2 流出バルブの作動状況	●			○		
	盛土・埋戻	1 締固め状況	●			○		
	コンクリート工	1 鉄筋の配筋及び止水板の固定の状況		●			○	
		2 型枠の設置状況	●			○		
		3 目地板の固定状況	●			○		
4 打込み、養生の状況		●			○			
出 来 形	基準高、コンクリート厚、内部断面、延長		●			○		

第2章 暗きよ及びサイホン

暗きよ及び サイホン	掘削	第5編第1章 開水路に準じる。						特記仕様書で明示した場合。
	埋戻							
	コンクリート工							
	漏水試験	1 試験の方法の適否		●	◎			
		2 試験区間の上、下流境界での止水状況		●			◎	
		3 試験水位		●			◎	
		4 注入量		●			◎	
	出 来 形	基準高、内部断面、壁厚		●			○	
埋設物の表示	1 材料		●	◎				
	2 設置状況		●			○		

監督事項			監督の方法		把握確認の方法		記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場 巡視 立会	
第3章 管水路							
3-1 管水路							
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 材料、管の製作、運搬、据付、接合方法、管割	●		◎		受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。
		2 現場溶接の溶接工の資格の適否	●		◎		
		3 現場塗覆装の塗装工の経歴	●		◎		
		4 通水試験の方法	●		◎		
施 工 状 況	施 工 状 況	1 管の損傷の有無		●		◎	矢板施工を伴う場合は周辺の構造物に注意。 矢板引抜き時に管のタワミの急増あるいは不とう性管にクラックが入ることがあるので注意を要する。 掘削完了時及び埋戻し前に段階確認を行う。 布設完了時に段階確認を行う。 溶接、ゴム輪の施工状況。 マクロセル腐食の防止。
		2 掘削方法、排水方法、周辺構造物の状況	●			○	
		3 埋戻の方法、背面の沈下、キレツの有無	●			○	
		4 基礎地盤の適否		●		◎	
		5 基礎（砂基礎、碎石基礎、コンクリート基礎）の状況		●		◎	
		6 管の布設、接合の施工状況	●			○	
		7 接合部の確認		●		◎	
		8 現場塗覆装の塗覆箇所の状態	●			○	
		9 鉄筋コンクリート構造物内の配管における鉄筋と鋼管又はダクタイル鋳鉄管との離隔	●			○	
通 水 試 験	継 目 試 験	水圧の確認（φ900以上）		●		◎	
		水 張 り 試 験	1 試験の状況		●		
	2 水位変動の状況			●		◎	
	水 圧 試 験	1 試験の状況		●		◎	
2 水圧変動の状況			●		◎		
出 来 形		基準高、中心線のずれ、延長、とう性管の内径（鉛直、水平）		●		○	内径がφ900mm以上について測定基準高を完成時に測定出来ない場合は、布設時に測定する。

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
3-2 推進工								
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 推進管の製作	●		◎			受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。 中押し装置があれば、その止水に対する構造に留意。
		2 推進用設備、機械、推進方法	●		◎			
		3 推進用刃口の構造、材料の適否	●		◎			
		4 立坑の位置、構造、形状の適否	●		◎			
		5 掘削の方法、順序	●		◎			
		6 施工管理の方法	●		◎			
		7 滑材及び注入材の配合、注入圧	●		◎			
施 工 状 況	施 工 状 況	1 支圧壁、土留壁の設置状況	●			○		内径がφ900mm以上について測定。
		2 排水状況	●			○		
		3 切羽の状況	●			◎		
		4 管の接合	●			◎		
		5 推進方向、高さ、勾配	●			◎		
		6 周辺への影響の有無	●			◎		
		7 滑材の注入量、時期の適否		●			◎	
	8 裏込の配合、注入量		●			◎		
	出 来 形	基準高、中心線のずれ、延長、とう性管の内径(鉛直、水平)		●			○	
3-3 付帯工								
付 帯 工	弁類製作仕様書	1 使用鋼材		●	◎			
		2 製作、検査、試験、運搬の方法		●	◎			
	弁類の据付	1 損傷の有無		●			◎	
		2 管との接合状況(ボルト、ナットの締付け、現場溶接、現場塗覆装)		●			◎	
		3 作動の状況		●			◎	
	埋設管表示テープ	1 材料		●	◎			
2 設置状況		●				○		

第6編 道路編

第1章 道路改良

1-1 法面工

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
アンカー工	引張試験	1 試験計画の適否		●	◎			
		2 スライムの確認		●			◎	
		3 注入材の注入状況		●			○	
		4 削孔長、定着長の適否		●			◎	
		5 引張力の適否		●			◎	
	施工状況	1 削孔間隔・削孔方向の適否	●			○		
		2 削孔状況、岩種の確認		●			◎	
		3 アンカー材組立加工挿入状況	●			○		
		4 注入材の注入状況	●			○		
		5 緊張状況（仮緊張含む）		●			○	
		6 頭部処理状況	●			○		
出来形	位置、間隔、削孔長、定着力の確認、注入量		●			○		
植生工		第1編第3章 一般施工に準ずる。						
法面吹付工								
法枠工								
かご工		第2編第1章 築堤・護岸に準ずる。						

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
1-2 擁壁工								
重 力 式 擁 壁 工 逆 T 式 擁 壁 工		1 基礎地盤の適否		●			◎	段階確認を行う。
		2 伸縮目地、水抜き孔の状況	●			○		
		3 透水材の設置状況	●			○		
	出 来 形	基準高、幅、高さ、延長		●			○	
補 強 土 壁 工 井 桁 ブ ロ ッ ク 工	施 工 状 況	1 基礎地盤の適否		●			◎	段階確認を行う。
		2 盛土材の適否		●			◎	
		3 スキン、ストリップの組立・設置状況	●			○		
		4 まき出し締固め状況	●			○		
		5 締固め状況	●			○		
		6 ブロック組立状況	●			○		
	出 来 形	基準高、壁高、延長		●			○	
作 業 土 工		第1編第3章 一般施工に準ずる。						
既 製 杭 工								
場 所 打 杭 工								
フ レ キ ャ ス ト 擁 壁 工		第2編第1章 築堤・護岸に準ずる。						
土 留 ・ 仮 締 切 工		第1編第3章 一般施工に準ずる。						
水 替 工								
1-3 カルバート工								
材 料		第1編第2章 材料に準ずる。						
作 業 土 工		第1編第3章 一般施工に準ずる。						
場 所 打 工								
既 製 杭 工								
函 渠 工	施 工 状 況	1 基礎地盤の適否		●			◎	段階確認を行う。
		2 据付設置状況	●			○		
		3 継手の施工状況	●			○		
		4 ボルトの緊結状況	●			○		
		5 コンクリートの施工状況	●			○		
	出 来 形	基準高、延長、巾、高さ		●			○	
土 留 ・ 仮 締 切 工		第1編第3章 一般施工に準ずる。						
水 替 工								

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法		記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場 巡視 立会	
1-4 小型水路工							
排水工	施工状況	1 基礎地盤の適否	●			○	
		2 床均し、埋戻し状況	●			○	
		3 目地の間隔、据付状況	●			○	
		4 フィルター材の施工状況	●			○	
		5 コンクリートの施工状況	●			○	
		6 ボルトの緊結状況	●			○	
	出来形	基準高、延長、巾、厚さ、高さ		●		○	
作業土工		第1編第3章 一般施工に準ずる。					
第2章 舗 装							
舗 装		第1編第3章 一般施工に準ずる。					
第3章 橋梁下部工							
施工計画	施工計画書	1 床掘り、埋戻し施工計画の適否	●		◎		受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。
		2 コンクリート施工計画の適否	●		◎		
		3 使用型枠の材質・構造の適否	●		◎		
施 工	施 工 状 況	1 基礎地盤の適否		●		◎	
		2 土留工の状況	●			○	
		3 埋戻し土の締固め度の適否	●			○	
		4 コンクリート工 第1編第5章 無筋・鉄筋コンクリートに準ずる。					
出 来 形		1 基準高、巾、長さ、高さ、厚さ		●		○	
		2 スパン		●		○	
		3 沓座の位置		●		○	

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記事	
種別	細別	内容	把握	確認	書面	臨場			
						巡視	立会		
第4章 鋼橋上部工									
鋼橋	施工計画書	1 材料、原寸、切断、加工、溶接、塗装	●		◎			仮組立て完了時の段階確認は実施しないものとし、特記仕様書に実施しない旨明記する。	
		2 仮組立	●		◎				
		3 輸送	●		◎				
		4 架設	●		◎				
		5 床版	●		◎				
	架設状況	1 架設の状況	●			◎			
		2 そりの適否		●			○		
		3 締付けの適否		●			○		
	支承工	位置、高さ、方向、アンカーの固定		●			○		
床版	施工状況	1 配筋の適否		●			○	段階確認を行う。	
		2 型枠の適否		●			○		
		3 コンクリート打込み状況	●			○			
	出来形	基準高、巾、厚		●			○		
塗装	施工状況	1 気象状況	●			○			
		2 清掃、さび落とし、ケレンの状況		●			○		
		3 塗装の均一性		●			○		
	出来形	塗膜厚		●			○		
第5章 コンクリート橋上部工									
P C 橋	施工計画書	1 緊張の方法、装置等	●		◎			受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。	
		2 運搬及び架設方法	●		◎				
		3 グラウトの配合及び品質管理	●		◎				
		4 コンクリートの品質管理	●		◎				
	けた製作 (現場製作)	1 シース、P C 鋼及び鉄筋の配置の適否		●				○	段階確認を行う。
		2 製作ヤードの状況	●				○		
		3 継目部の製作状況	●				○		
		4 コンクリートの打込み、養生の状況	●				○		
		5 シース内の水洗い状況	●				○		
		6 グラウトの注入状況	●				○		
		7 注入量の適否	●				○		
		8 緊張の確認		●				◎	
	架設	第6編第4章 鋼橋上部工に準ずる。							
横締め工	けた製作に準ずる。								
支承工	第6編第4章 鋼橋上部工に準ずる。								

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法		記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場	
						巡視	
	出 来 形	主げた断面の形状・寸法、延長		●			○

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場		
						巡視	立会	
第6章 トンネル工								
施 工 計 画	施 工 計 画 書	1 坑口計画	●		◎			受理した計画工程表は、検討の上意見を付して統括監督職員に報告する。
		2 掘削及び使用機械計画	●		◎			
		3 ロックボルトの間隔、長さ、アンカー型式	●		◎			
		4 覆工コンクリート配合	●		◎			
		5 型枠及びコンクリート打込み計画	●		◎			
		6 裏込材の配合及び注入計画	●		◎			
		7 シールド機的设计、製作計画	●		◎			
		8 セグメント的设计、製作計画	●		◎			
		9 配管及び施工方法	●		◎			
		10 コンクリート吹付配合	●		◎			
		11 コンクリート吹付方法及び使用機械計画	●		◎			
		12 計測計画	●		◎			
		13 排水計画	●		◎			
		14 保安設備計画	●		◎			
一 般	保 安 設 備	1 坑内照明、坑内の状況	●			◎		仮設備全般（コンプレッサー、充電器、ズリ処理設備、排水処理設備）の配置。
		2 排水、換気状況	●			◎		
		3 路面、軌道の保安状況	●			◎		
	仮 設 備	1 坑口仮設備状況	●			◎		
		2 坑内仮設備状況	●			◎		

監 督 事 項			監督の方法		把握確認の方法			記 事	
種 別	細 別	内 容	把握	確認	書面	臨 場			
						巡視	立会		
矢 板 工 法	掘 削 施 工 状 況	1 掘削状況	●			◎		段階確認を行う。	
		2 掘削断面、設計巻厚線の確保		●			○		
		3 他の構造物への影響の有無	●			◎			
		4 浮石処理の状況	●			○			
		5 地質の変化点、掘削方法の適否		●			◎		
		6 突出岩等の適否		●			○		
	支 保 工	1 支保工、加工、組立、設置位置の適否			●			◎	支保工変化毎に段階確認を行う。
		2 上げ越し、根固め、変位等の状況			●			◎	
		3 矢板背面の充てんの適否	●				○		
		4 ロックボルト施工状況	●				○		
	覆工コンクリート	1 余掘り箇所の充填状況	●				○		段階確認を行う。 構造の変化毎に段階確認を行う。
		2 矢板等の処理の適否		●				◎	
		3 湧水処理状況（防水シート等含む）		●				◎	
		4 配筋及び支保材の適否		●				○	
		5 覆工型枠設置状況	●				○		
		6 打継目の処理状況	●				○		
		7 打込み状況	●				○		
	裏 込 め 注 入	1 注入圧力、順序、時期の適否	●				○		
		2 最終注入圧力、注入量		●				○	
		3 注入状況	●				○		
	出 来 形	1 基準高、内部断面、延長		●				○	
2 アーチ、側壁の厚さ			●				○		

監督事項			監督の方法		把握確認の方法			記事
種別	細別	内容	把握	確認	書面	現場		
						巡視	立会	
N A T M	掘削施工状況	矢板工法に準ずる。						
	吹付コンクリート	1 吹付コンクリート試験練り、試験吹き		●				◎
		2 金網の固定状況（重ね、かぶり含む）		●			○	
		3 吹付厚測定棒の設置状況		●			○	
		4 吹付面の湧水処理状況			●			◎
		5 吹付コンクリート面の仕上げ状況		●			○	
	出 来 形	厚さ、延長		●				○
	ロックボルト	1 間隔、削孔長、方向等の適否			●			○
		2 打込状況		●			○	
		3 モルタル等接着剤の注入状況		●			○	
		4 仮締め状況（頭部処理含む）		●			○	
		5 緊張の確認			●			○
	出 来 形	位置、間隔			●			○
	覆工コンクリート	1 コンクリート打設時期の適否		●		◎		
		2 防水シートの設置状況		●			○	
		3 配筋の適否			●			○
		4 覆工型枠設置状況		●			○	
		5 打継目の処理状況		●			○	
		6 打込み状況		●			○	
	出 来 形	基準高、内部断面、厚さ、延長			●			○
計 測 工	1 設置位置			●			◎	
	2 測定記録		●			○		
	3 設計値との対比		●			○		
シールド工法	掘	1 シールド機の試運転		●			○	
		2 シールド機の位置確認		●			○	
		3 掘進状況		●			○	
		4 掘進中他構造物への影響の有無		●			◎	
		5 土質の状況		●			○	
		6 テールシールの状態		●			○	
	覆 工	1 セグメントのボルト締付、清掃状況		●			○	
		2 注入量			●			○
		3 配管布設状況		●			○	
		4 二次覆工の型枠等設置状況		●			○	
		5 コンクリート打込み状況		●			○	
		6 アーチ部の充てん状況		●			○	
	出 来 形	基準高、内部断面、延長			●			○

段階確認を行う。
構造の変化毎に段階確認を行う。